



平成 21 年 3 月 24 日 中部地方で初めて 『中心市宣言』を行いました

先行実施団体として
『中心市宣言』を行う

美濃加茂市は、「先行実施団体」（総務省から先行的な検討を指定された都市）として、3月24日に『中心市宣言』を行いました。

『中心市宣言』では、三つの視点として、①生活機能の強化、②ネットワークの強化、③圏域マネジメント強化の取り組みを行い、定住化の推進と圏域内に住む皆さんが住んで良かったと実感できる「自立循環型のふるさと定住自立圏」をつくっていくことを宣言しました。

中心市としての
今後の取り組み

今後は、中心市として、地域医療病院を拠点とした病診ネットワークづくり、交通の利便性と立地特性を活用した企業集積、地域の自然資源を活かした地域ブランドや特産品開発、多文化共生のための教育環境の整備など、地域の諸資源をバランス良く有効活用していきます。

また、周辺の町村との間で、役割分担と連携による必要な協定を結び、さらに、具体的な計画を作ることにより、圏域の定住化と活性化に向けた取り組みを実行していきます。



美濃加茂は
素晴らしい

経営企画部長

宮口 誠

MIYAGUCHI MAKOTO

地域が魅力的で、住み続けたい環境づくり！それが定住自立圏構想を取り組む目的です。

たとえば、病院や学校、そしてコミュニティバスなど生活に関連する施設活用などについて、美濃加茂市に限定することなく、協力できる他の町などと連携して、大きな行政区域の中で効果的に活用していくことを考えています。

一人では成果の上がらない活動も、自治会や地区など、みんなの知恵と協力によって、素晴らしい環境が実現します。

できるだけ多くの市民の皆さんが、心から美濃加茂市に誇りを感じていただけることを信じて…。

定住自立圏のイメージ

